

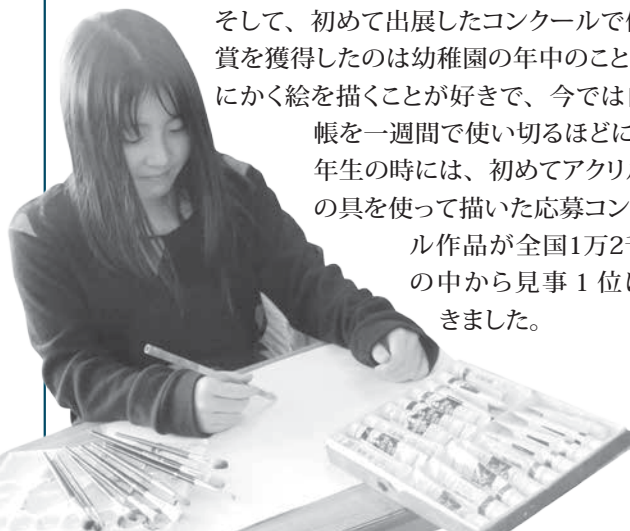


1位 西新井小学校（6年生） **まつむら** **かのん**
松村 華乃音さん

描き始めは生後半

「感性豊かな人になって欲しい」と母が落書き帳とクレヨンを渡してくれたのは生後半の頃でした。

そして、初めて出展したコンクールで優秀賞を獲得したのは幼稚園の年中のこと。とにかく絵を描くことが好きで、今では自由帳を一週間で使い切るほどに。5年生の時には、初めてアクリル絵の具を使って描いた応募コンクール作品が全国1万2千点の中から見事1位に輝きました。



魅力は思いを形にできること

「イメージしたことを形にして人に伝えられることが絵画の一番の魅力」と松村さん。どんな絵を描こうかと考えるときは、まず指で空中をなぞります。良いイメージが出来たら、忘れないようにすぐにデッサンし、うまく表現できないときは、気持ちを切り替え、別の絵のイメージを膨らませています。

「大人になったら、絵に関する仕事につくことが夢」と。その実現のため、今日もまた大好きな絵に向き合っています。



カラー作品はこちらからご覧ください！

第47回絵画コンクール 我ら海の子展

検索



第47回 日本リトルシニア 日本選手権大会(野球)

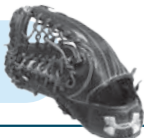
優勝 六月中学校（3年生） **おぐら** **れん**
小倉 蓮さん

Enjoy baseball

場面はツーアウト満塁。仲間の思いを背負って小倉さんが打席に。フルスイングで放った打球は外野手の間を抜け、見事ランニング満塁ホームランとなりました。優勝をつかんだ小倉さんには、試合後、敢闘賞が贈られました。

勝利の秘訣は「Enjoy baseball」。大事な場面こそ楽しむことで「本来の力を発揮することができる」と話します。メンタルトレーニングは試合に出場しているときだけでなく、普段の練習から仲間同士で意識してきたそうです。今回の優勝について、「共に練習してきた仲間感謝したい」と振り返りました。

準々決勝のタイブレークでは、ピッチャーとしても活躍しました！



いつでも出場できる準備を

「チャンスで打てる。チームに必要とされる選手になりたい」という小倉さんの将来の夢はプロ野球選手。「内野での守備が弱点ですが、今後どこのポジションで使ってもらえるかわからない。弱点を克服して、どんな場面でも出場できる準備をしていきたい」と自身の課題をしっかりと見据えています。

中学の3年間で、選手として大きく成長してきた小倉さん。手にしたグローブを見つめ、「3年間共に闘った。これからもこのグローブで頑張ります」と頼もしく語ってくれました。

